

保護者様

千葉市立稲浜小学校長  
校長 平川 紀子

令和4年度第2回 学校評価アンケート結果のご報告

保護者の皆様には、ご多用の中、学校評価アンケートへのご協力をいただき、ありがとうございました。集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。結果につきましては、今後の学校運営の参考とさせていただきます。なお、回答数は189(児童数205)で、回答率92.2%でした。

	児童	保護者	教職員
1 学習内容を理解している	3.5	3.4	3.4
2 話す・聞く力が身につけている	3.6	3.2	3.1
3 学習への心構え、準備ができている	3.4	3.3	3.0
4 学校は、体験活動を重視し表現力を伸ばそうとしている	3.4	3.3	3.6
5 家庭学習に積極的に取り組んでいる	3.0	3.0	2.9
6 ICT機器を活用したり、プログラミング教育に積極的に取り組んだりしている	3.5	3.0	3.4
7 家族や友達、地域の方などにきちんと挨拶をしている	3.6	3.2	2.6
8 ルールや決まりを守り、規律正しく生活している	3.7	3.4	3.4
9 学校行事や児童の活動において児童の主体性を大事にしている	3.7	3.3	3.4
10 いじめや問題行動に対して、迅速に対応し解決しようとしている	3.8	3.3	3.8
11 教育相談を充実させ、児童の悩みを解決しようとしている	3.1	3.2	3.6
12 積極的に運動に取り組んでいる	3.5	3.4	3.2
13 学校は、児童にバランスの良い運動体験をさせようと工夫している	3.5	3.3	3.0
14 食材に興味を持ったり栄養を考えて食事をしようとしていたりしている	3.3	3.0	3.3
15 健康について関心をもち、自ら健康保持に努めようとしている	3.5	2.9	2.8
16 各種お便りやHP等によって教育活動を積極的に発信している	3.2	3.3	3.4
17 必要に応じて連絡帳や電話連絡などで、家庭と連携がとれている	3.6	3.4	3.8
平均	3.5	3.2	3.3

○学習について

児童評価では、各項目前期評価と同程度の評価であり、概ね良好と捉えることができる。保護者評価では、「家庭学習への取り組み」「ICT機器の活用」に若干の改善が見られた。職員評価では、家庭学習についての取り組みが十分でないといえられている。

家庭学習については、各クラスので宿題とともに自主学習への取り組みをより浸透させるために、「何を学習するのか」「どのように取り組むのか」など、学校として目指す方向性を明確にしていく。ICTの活用については、使う場面をより精選するとともに、プログラミング教育を学校全体で進める。

○徳育について

児童・保護者・職員評価とも、各項目とも高評価を維持している。職員における「礼儀・挨拶」の評価に低下が見られた。今年度の引き続き「自分から、大きな声で、相手の目を見て」を大切にしながら今後もそのような挨拶ができる子どもを育てることを目指して継続指導していく。

○運動や体について

児童・保護者・職員とも前期とほぼ同程度の評価となった。コロナ禍での制限が続いたことの影響もあり改善傾向は見られなかった。2月に実施した「学校保健委員会」において、来年度の活動として運動については、「児童が楽しみながら力をつけることができる」を目指し、学校全体での取り組みを実施していくことを確認した。また、食育、生活習慣についても栄養士、保健主事を中心に、食育授業、健康授業など、教員の専門性を生かしながら子どもたちの意識をより高めていく取り組みを継続的に実施していくことを確認した。学校での取り組みは、保護者の皆様にご理解いただけるようお便りやHPでの発信をより良いものとなるよう工夫していく。

これからも保護者の皆様との連携を大切にしながら、子どもたちがよりよく成長していける学校を目指して全教職員で取り組んでまいります。